

三井金属鉱業株式会社 水力発電事業(土第一発電所)

■事業概要

本事業は、岐阜県飛騨市で大正 9 年に運用開始した現在の水力発電所「土第一発電所」(水路式)が、老朽化の進行により、早晚、停止せざるを得ない状況にあるため、大規模な更新工事を行い、発電した電力を全て電力会社に販売するものである。

項目	内容
利子補給対象	水力発電設備への融資
所在地	岐阜県飛騨市
用途地域	—
発電出力	最大 1,650kw、常時 973kw
工事予定期間	平成 29 年 4 月～平成 30 年 7 月
供用開始予定	平成 30 年 7 月

■立地環境

事業予定地は、岐阜県飛騨市神岡町土にある土第一発電所。発電所は跡津川橋の上流約 900m の跡津川沿いに、取水設備は跡津川上流方向約 2km の跡津発電所放水口に位置している。周辺は大半を森林が占め、市道跡津川線沿いに住宅が点在し、跡津集落や佐古集落には小規模な田畑が点在しているが、学校、病院、社会福祉施設は存在せず、最も近い住宅は事業予定地の西側約 200m にある。

■実施した環境影響調査

飛騨市及び岐阜県の公表資料、環境省の自然環境保全基礎調査などの既存文献調査に加え、専門技術者による河川水質及びクマタカを含む猛禽類の現地調査及びヒアリングを実施している。

■関係者(地域住民など)との情報交流の状況

関係者への説明会を実施するとともに、工事内容、工事工程、事業実施に際しての環境配慮の取組内容について記載した資料(紙媒体)を事業予定地周辺に掲示し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画(例)

- 建設工事中の配慮：工事中における河川水質の常時監視、濁水処理施設及び pH 処理装置による工事排水の適切な処理、沈砂池の設置、猛禽類に配慮した工事などを実施する計画とする。



環境配慮に関するコメント

事業予定地周辺における河川水質やクマタカを含む猛禽類に関する現地調査を実施したうえで環境配慮の取組を計画していること、工事中における水質の常時監視や工事パトロールによる環境配慮の状況確認を実施する計画としていることは評価できる。

一方、クマタカについては、古巣の有無の確認調査を再度行うとしているが、工事実施中もクマタカのモニタリングを実施し、クマタカの営巣が確認された場合には、適切な対応をお願いしたい。また、事業予定地周辺には、中・大型哺乳類の生息が確認されていることから、工事用車両によるロードキル防止対策についても検討をお願いしたい。この他、戦前の建造物の更新事業であり、想定外の有害物質が建設廃棄物に含まれている可能性も考えられるため、建設廃棄物の処理には十分な配慮をお願いしたい。